



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ ジュニア・シニア 平成30年度 発足式

平成30年5月のマリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動をご報告します。

【趣旨】

- JAMSTEC の多くの皆様やクラブ会員を支えてくださる多くの皆様の存在を知り、感謝することで、クラブの活動に誇りを持つ。
- 「海洋」というフィールドの第一線で活躍し、クラブ会員が憧れを抱く JAMSTEC の皆様から、さまざまな講演等を通して学ぶことで、海洋や地球科学に対する「好奇心」や「理解」を深める。
- 活動のなかでクラブ会員や家族同士の交流が深まり、海洋・地球の学びを軸とした地域のコミュニティ形成を図る。

上記趣旨のもと、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ 平成30年度 発足式を開催しました。

期 日：平成30年5月12日（土） 天気：晴れ

場 所：八戸市水産科学館マリエント 3階ウミネコシアター

参加者：来賓21名、ジュニア会員58名、シニア会員12名、付添（家族）57名、引率2名 計150名

来賓挨拶として八戸市教育委員会伊藤博章教育長、国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下「JAMSTEC」という。）むつ研究所田中武男研究所長、国立研究開発法人海洋研究開発機構研究成果活用促進八戸市議会議員連盟会長「ちきゅう」たんけんクラブ・名誉会長 シニア相談役坂本美洋様よりご挨拶いただきました。



吉井仁美 マリエント館長
発足11年目を迎えるにあたり、関係機関の皆様のご期待に沿えるよう、基本に立ち返り、真摯に活動を続けていくと決意表明されました。

伊藤博章 八戸市教育委員会教育長
たくさんの研究者に囲まれる日本地球惑星科学連合（JpGU）2018年大会で、「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア会員に精一杯発表してきてほしいとの激励のエールをいただきました。



たなかたけお JAMSTEC むつ研究所 所長
 「ちきゅう」たんけんクラブの皆さんが地球を対象
 に何だろうと疑問に思ったことが、学校で教わった
 事柄と結びついたときに大きな発見となります。と
 お話がありました。

さかもとよしひろ JAMSTEC 研究成果活用促進八戸市議会
 議員連盟会長、「ちきゅう」たんけんクラブ・ジ
 ユニア名誉会長 シニア相談役
 八戸で東京と同等の勉強ができるように、地域を
 挙げて子供たちの科学する心を育てたい、視野を
 広げていきたいとの熱い思いをお話いただきました。

多数ご参加いただいた来賓の皆様のご紹介の後、今年4月に海上自衛隊 南極観測船「しらせ」が南極
 観測支援の任務を終え帰還した際持ち帰った南極の氷をマリエントに送っていただいた氷を披露しまし
 した。

南極の氷は、式典の後、5階展望ホールで触ることができました。



平成29年度「ハガキにかこう海洋の夢コンテ
 スト」の表彰式を行いました。「ハガキにかこう
 海洋の夢コンテスト」とは、未来を担う子供たちが
 持つ海洋への夢や憧れ、興味を高めるために JAMSTEC
 が毎年開催しているコンテストです。今年、八戸
 市立長者小学校6年 阿部圭太さんの作品が入選
 に選ばれました。表彰状等のプレゼンターは、
 JAMSTEC むつ研究所 田中武男 研究所長 にお願
 いました。

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの平成
 29年度の活動記録の贈呈は、JAMSTEC 研究成
 果活用促進八戸市議会議員連盟坂本美洋会
 長からたんけんクラブを代表して十和田市立三本木小
 学校 3年 斎藤寧彩さんに贈呈していただきました。

活動記録贈呈の後、来る5月20日（日）、千葉県幕張メッセ国際会議場で開催される日本地球惑星科学連合（JpGU）2018年大会に、たんけんクラブ・シニアとして参加し、ポスター発表に挑戦するメンバーの団結式、出発式が行われました。

この大会は、原則学校単位での参加となっていますが、今回初めて学校単位以外での団体での参加が認められ、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアとしての各高校混合チームとして参加できることとなったものです。



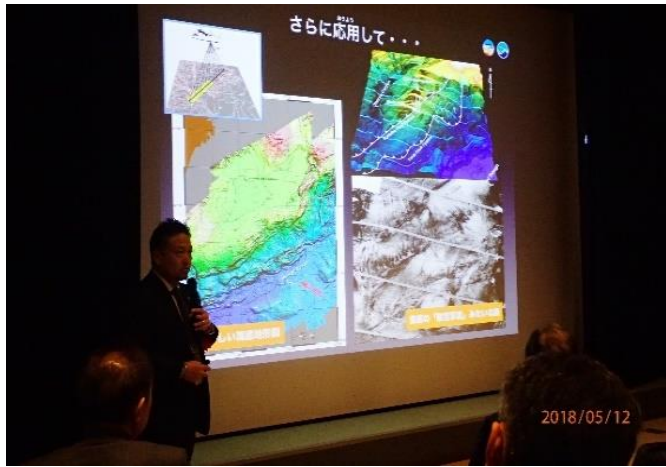
メンバーの自己紹介と決意表明の後、高橋晃シニア会長からは、ジュニア会員に対し、みんなの周りには、今回のJpGUのような世界的な学会で発表できる機会が待っていると。また、井上貫之シニア副会長からは、ジュニア会員へ、シニア会員を見習っていろんなことにチャレンジしながらシニアに進んでほしいとお話がありました。



続いて、「ちきゅう」たんけんクラブの活動を支えて下さる関係者の皆様に感謝し、今年度も活動できますことを願って花束贈呈を行いました。会員を代表して、十和田市立三本木小学校6年七十刈清音さんが「今年もよろしくお願ひします。」と元気よく感謝の思いを伝え、他のプレゼントの会員の皆さんも続いて挨拶をし、花束を贈呈しました。

花束贈呈の後、これまでの活動への感謝と今年度の更なる活動への新たな出発として、特大ケーキに入刀をしました。「ケーキ入刀！」と参加者の皆さまとの掛け声を合図に無事に入刀しました。ケーキ入刀後、記念撮影。大きな拍手と歓声が沸きました。

ケーキ入刀の後、JAMSTEC 地球深部探査センター センター長 倉本 真一様より、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの会員並びに関係者の皆様へ記念講話「どうやってちきゅうをしらべるか？」と題してお話を頂きました。



倉本真一 JAMSTEC地球深部探査センター長
昔は、おもりを付けたロープを使って海の深さを測っていた。
現代は、音を使ってさまざまな計測を行う。反射だけでなく屈折も利用して地形や断層など内側の様子を調べる。

興味、なんでだろうという思いが研究の始まり、たんけんクラブのみんなと一緒にちきゅうを探検していきたい。



最後に、参加者の皆さまと記念撮影を行い、閉式いたしました。
“これからも頑張っていこう！”という気持ちを込めて、参加者の皆さんと一斉に「エイエイオー！」の力強い掛け声で、これからの活動へ向け気持ちを新たにしました。

式典終了後、クラブ員達は、マリエント前の海岸に集合し、昨年10月、新井田川漁業協同組合様のご協力により開催した「サケ増殖と水産市場の大研究」の活動の際、クラブ員が採卵し受精させたシロザケの受精卵をマリエントで飼育し、7~8センチ程度の大きさに成長した稚魚の放流を行いました。



サケの稚魚放流後、クラブ員達は5階展望ホールにおいてレポート作成を行いました。

レポート作成後、特大ケーキを美味しくいただきました。

最後になりましたが、御出席を賜りましたご来賓の皆様、たんけんクラブ会員並びに保護者の皆様、本式典にご協力を賜りましたJAMSTEC並びに関係者の皆様、お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

クラブ発足11周年の節目を迎えるにあたり『マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・ジュニア』・『マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア』ともにより一層充実した活動となりますよう頑張っております。今後とも変わらぬご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

